

福祉型障害児入所施設『平和寮』出身者の栗山龍太さんより

ファーストアルバム発売のお知らせです！

このたび9月17日に「僕の取り柄と盲導犬」というタイトルで、待望のファーストアルバムをリリースすることができました。

僕は、2010年にみなさんご存知のB'zやZARDを世に出した明石正男さんと、友人の立石賢治くんのプロデュースで、「僕の取り柄と盲導犬」というシングルをださせていただき、3000枚を売り上げることができました。

…とはいいまでも、私は盲学校の教員ですので、収益金を東日本大震災で被災した視覚障害者の支援と盲導犬の育成に寄付と募金というわけなのですが、そんな活動がNHKにとりあげられ、現在も祝祭日を利用していろいろなイベントに出させていただいております。

今回のアルバムは10曲入りで、J-POP中心のアレンジになっています。タイトル曲の「僕の取り柄と盲導犬」は、僕とダイアンの日常やパートナーシップを認めたものです。9分間のストーリー仕立てになっていて、僕が失明したころ将来盲導犬を持ってみたいと考えていたこと、実際一か月の共同訓練をしていたときの想い、そして僕の日常として街や仕事にダイアンと出かけるときの様子を歌詞にしました。でも犬の寿命は10から15年程度であり、お別れをしないといけないときがやってくるというくだりがあります。どんなに強い絆であってもそんな日がやってきます。でも僕が伝えたいことはそれを悲しむことだけでなく、逆に必ず別れが来るのであれば、日々大切に生きなければならないというメッセージなのです。パートナーであれ、友人であれ、ペットであれ、生きている以上必ず別れはあるのです。決して泣き落としではなくそんな思いを曲にしました。機会があればぜひ聴いてください。



3 曲目の「二人暮らし」という曲は盲導犬との家さがしをテーマに歌ったものです。現在のパートナーであるダイアン盲導犬としては2代目なのですが、初代の盲導犬と一緒に生活するにあたって、当時 15 年前の日本では視覚障害者と盲導犬のペアでは、なかなか賃貸物件で OK をくれるところがありませんでした。結局 100 件以上探して、やっと 1 件横浜で住める物件が見つかったというストーリーです。そのときの気持ちを歌にしました。

その他アルバムのコンセプトとしましては、私自身 40 代を目前に、仕事と家庭を両立、そして視覚障害者として夢をもちつつもたくさんの人々との関わりの中で誰かに助けられることが多い一方、反対に今度は何か誰かの役に立ちたいという思いを、少し余裕が持てるようになった、ちょっと大人な男性目線で楽曲製作をてがけてみました。20 代では思い描けなかった境地、多少の経験を踏まえて 40 手前だからこそ言えることをアルバムに凝縮させてみました。

1 枚 3000 円となっております。もし興味を持っていただけましたら、「SHOP 栗山龍太オフィシャルサイト」からお買い求めくださいませ。上記場所から検索していただくと、CD の購入フォームがでてきます。必要事項を入力していただき送信しますと、自動的にお振込み方法等の案内が送られてきます。

先日 17 日には、東京大塚にある HEARTS というライブハウスで CD 発売イベントをやらせていただきました。とても盛況で、アルバムの評判も上々です。

今後ともどうぞよろしく申し上げます！！

2014. 10. 18

栗山龍太

